



国土交通省
武雄河川事務所
巖木ダム管理支所

巖木ダム

巖木ダムと天山発電所の 一日体験学習を実施しました。

唐津市・多久市に在住の親子を対象に、巖木ダムと天山発電所の一日本験学習を8月2日(日)に実施しました。

施設の見学・説明を通して、治水や利水の観点からダムの機能や役割等を、幅広く学んでいただくことを目的に実施しています。



巖木ダム操作室見学



天山発電所見学



水鉄砲づくり

開催の準備や運営は、巖木ダム管理支所と関わりのある機関(唐津市水道局・多久市水道課・九州電力株)で行っており、今年で14回目になります。

今回は唐津市・多久市に在住の39名(大人18人、子ども21人)の参加がありました。巖木ダムの内部や地下にある天山発電所の見学、松浦川の水から唐津市の水道水ができる久里浄水場の見学など、初めて見る施設や知ることもあり、意義のあるものになったと思います。

昼休みには、竹の水鉄砲づくりを体験して頂きました。保護者と一緒に熱心に水鉄砲を作り、的当てに夢中になって楽しそうに遊ぶ姿が印象的でした。子どもたちには夏休みのいい思い出になったのではないのでしょうか?

発行所
武雄河川事務所
巖木ダム管理支所
唐津市巖木町広瀬446-4
(〒849-3111)
TEL(0955)63-2500
FAX(0955)63-2512
ホームページアドレス
<http://www.qsr.mlit.go.jp/kyuragi/>

9月1日
第7号

紙面の問い合わせ
上記発行所へ



ダム見学を随時受付けています。お気軽にご連絡下さい!!



※ダム見学の受付

時間：平日午前9時～午後4時

受付：電話かFAXにて事前にお申し込み下さい。

※巖木ダムのホームページにアクセスすると
申込書をダウンロードできます。

<http://www.qsr.mlit.go.jp/kyuragi/>
ご家族など少人数での申し込みも受け付けます!

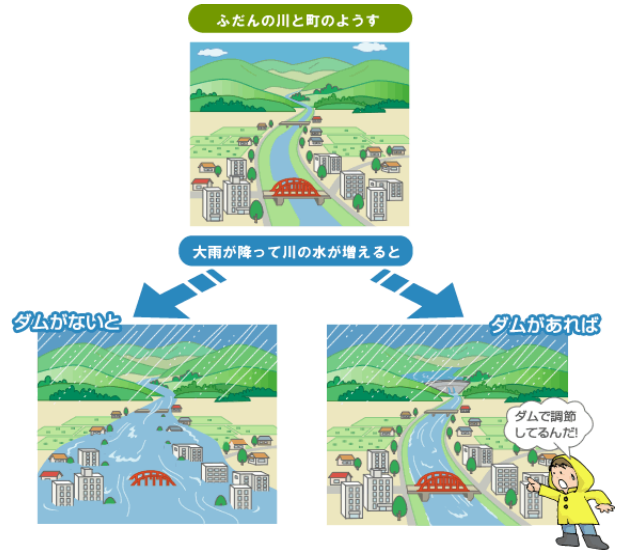
ダムの役割の1つである洪水調節について解説します。

ダムで洪水を調節する目的

○大雨が降って川の水が増えすぎると、川から水があふれて、家屋や田畑に被害がでる恐れがあります。

ダムでは、洪水による被害を防ぐために、洪水時に水を貯め、川へ流す水の量を調節します。

このことを**洪水調節**といいます。



ダムで洪水を調節するしくみ

○雨が降るとダムへ流れてくる水の量によって、下流へ流す水の量を調節します。

大雨が降るときは、洪水の一部をダムに貯めて、流れてくる水の量よりも少ない水の量を川へ流して、洪水による被害を防ぎます。

大雨がやんだら、ダムに貯めた水を一定の量で下流へ流すことにより、ふだんのダムの水位に戻して、次の大雨に備えます。

